

令和5年度待機児童対策について

1 現状

市内人口は、令和4年度に一度減少したが令和5年度は再び上昇し、0～5歳人口は減少傾向にある。このような中、申込児童数は上昇傾向にあり、新規申込は上昇に転じている。また、公立、民間合わせて36の施設を整備し、1,759人の定員を確保しているが、令和5年4月1日時点では、39人の待機児童が発生し、待機児童発生と保育所整備を繰り返している状況である。

【施設整備状況】

令和5年4月1日時点

		施設数	認可定員(人)	備考
公立保育所		4	270	
民間	認可保育所	16	1,117	
	認定こども園	1	118	
	小規模保育施設	15	254	+病児保育施設
計		36	1,759	

2 課題・分析

待機児童の状況として、1、2歳児では定員が不足し、3歳児(以降)では、心身の発達などから保育士を加配して対応しており、定員より入所数を抑えているため確保定員全ての受入れ機能が発揮できていない状況である。

また、今まで、各年度に発生した待機児童に着目して保育所等を整備してきたが、待機児童が解消しない現状を踏まえ、潜在的な待機児童とも言われている特定保育園希望(入所保留児童)も含め検討する必要がある。

さらに、3歳児以降の各定員が2歳児の定員より少なく、認可定員の不均衡が生じており、これらの課題を解決していくため、保育所等の整備による定員の確保と定員構成の見直しが必要である。

【待機児童の状況】

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
待機児童	0	25	9	5	0	0	39

【特定保育園希望の状況(入所保留児童)】

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
特定保育園希望	10	45	7	12	5	0	79

【認可定員及び現員の状況】

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
認可定員	187	296	330	311	316	319	1,759
現員	131	316	338	287	295	279	1,646

※上記表いずれも令和5年4月1日時点

3 保育需要の検討

(1) 令和5年度待機児童

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
待機児童	0	25	9	5	0	0	39

(2) 特定保育園希望（入所保留児童）

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
特定保育園希望	10	45	7	12	5	0	79

(3) 認可定員の不均衡

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
認可定員	187	296	330	311	316	319	1,759

※ 認可定員の不均衡

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
認可定員	330人	≥ 311人	≤ 316人	≤ 319人
(2歳児－3～5歳児)		19人	14人	11人

《需要予測》

当面の待機児童対策としては、(1)の令和5年度待機児童への対応と(3)認可定員の不均衡の解消が必要である。しかし、今まで行ってきた各年度に発生した待機児童だけの対応では、待機児童が解消しない現状を踏まえ、(2)の特定保育園希望も含め、ある程度まとまった複数年分の待機児童対策の検討を行う必要がある。

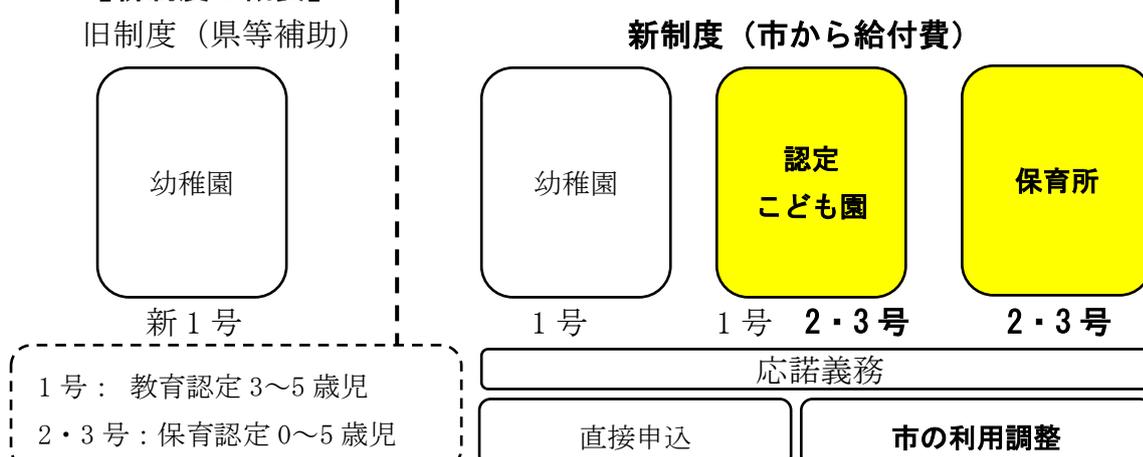
単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
(1)+(2)+(3)	10	70	16	36	19	11	162

4 供給量（整備量）の検討

現在、市内幼稚園事業者2者から認定こども園化の相談と、小規模保育施設事業者1者から施設拡充の相談を受けている。また、公立保育所の再整備も検討しており、これらの整備で供給量（整備量）を確保する予定である。

【新制度の概要】



(1) 幼稚園の認定こども園化

《みひかり幼稚園》

園舎を新設整備して、令和7年度から認定こども園化を予定。

令和6年

園舎の新設整備

令和7年

単位：人

	1号	2号	3号	計
年長	35	22		57
年中	20	22		42
年少	20	22		42
2歳			12	12
1歳			12	12
計	75	66	24	165

- 1号 教育標準時間認定こども利用者が施設へ直接申込、契約（幼稚園部分）
- 2・3号 保育認定こども利用者が市へ利用希望を申込、市が利用調整（保育所部分）

《ちくみ幼稚園》

園舎の一部を改修及び増築整備して、令和6年度から認定こども園化を予定。1、2歳児は段階的に受け入れる。

令和6年

単位：人

	1号	2号	3号	計
年長	95	48		143
年中	78	40		118
年少	78	40		118
2歳	園舎の改修及び増築整備			
1歳				
計	251	128		379

令和7年

単位：人

	1号	2号	3号	計
年長	78	40		118
年中	78	40		118
年少	78	40		118
2歳			12	12
1歳			12	12
計	234	120	24	378

令和8年

単位：人

	1号	2号	3号	計
年長	78	40		118
年中	78	40		118
年少	78	40		118
2歳			24	24
1歳			24	24
計	234	120	48	402

【保育認定（2号・3号）部分の定員】

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
みひかり幼稚園	0	12	12	22	22	22	90
ちくみ幼稚園※	0	24	24	40	40	40	168
計	0	36	36	62	62	62	258

※ 令和8年度の定員

(2) 小規模保育施設整備

運営中の小規模保育施設(エンジェルハウス八潮園)で、調理室が狭小のため同園から定員縮小の相談があり、待機児童が発生している状況から、小規模保育施設の新設整備の申出もあった。

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
現定員	3	8	8	現定員19人を12人に縮 小し、別途、新設整備 変更定員=拡充分			19
変更定員	3	4	5				12
新設整備	3	8	8				19
拡充分	3	4	5				12

(3) 公立保育所(古新田保育所)再整備による定員拡充

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
現認可定員	3	3	6	16	16	16	60
新認可整備	6	12	12	20	20	20	90
拡充分	3	9	6	4	4	4	30

《供給量(整備量)予定》

認定こども園整備、小規模保育施設整備及び古新田保育所再整備の供給量(整備量)の合計。

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
(1)+(2)+(3)	6	49	47	66	66	66	300

5 需要予測と供給量(整備量)の比較

整備のポイントとなる年齢は、待機児童の過半数を占める1歳児と、小規模保育施設(0～2歳児)から認可保育所等(0～5歳児)へ連携する3歳児である。1歳児の定員を49人増設し、2歳児は同程度の増設、3～5歳児は認可定員の不均衡を解消するため、さらに17人の定員を増設する。

なお、0、1歳児の不足分については、保育士の処遇改善事業による保育士確保を進め入所枠を確保するとともに、今後の待機児童の状況を確認しながら追加整備の判断を行うこととする。

【需要と供給の比較】

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
①需要予測	10	70	16	36	19	11	162
②供給量	6	49	47	66	66	66	300
③差引②-①	▲4	▲21	31	30	47	55	138

【認可定員の状況】

単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
整備前	187	296	330	311	316	319	1,759
整備後	193	345	377	377	382	385	2,059

6 今後の整備予定

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認定こども園 (みひかり幼稚園)	整備	開所 1～5 歳児	
認定こども園 (ちくみ幼稚園)	開所 3～5 歳児 ※一部整備	1～2 歳児受入	1～2 歳児拡充
小規模保育施設 (エンジェル)	開所 0～2 歳児拡充		
公立保育所 (古新田保育所)	設計	整備	開所 0～5 歳児拡充
整備量 (300 人)	132 人	114 人	54 人